

平成30年度 基本方針

一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会

専修学校各種学校は、これまで長年にわたって専門的かつ実践的な知識・技能取得のための我が国の中核的な職業教育機関として、求められる人材の育成を通して地域社会に貢献してきました。

一方、近年のわが国を取り巻く環境は、新興国市場の経済のグローバル化とITの発達により、かつて経験したことのないスピードで大きな変化が進行しており、平成29年12月に政府が閣議決定した生産性革命と人づくり革命を両輪とする「新しい経済政策パッケージ」では、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)など、生産性を劇的に押し上げるイノベーションを実現していくとしております。

また、少子高齢化に伴う労働人口の減少や雇用・労働環境の変化から今後の日本経済成長や国際競争力、更には地域の産業振興を支えるためには、産業構造の変化や労働力のグローバル化に対応できる質の高い人材の育成と確保が急務となっています。

こうしたなか、国においては平成26年度から、更なる質の高い職業教育を推進する「職業実践専門課程」が制度化されるとともに、専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関として、平成31年4月より開学となる「専門職大学」及び「専門職短期大学」が制度化されました。教育活動の全体を通じた体系的・系統的な生涯学習及び職業教育がいかに重要であるかを社会が認知しつつあるといえます。

さらに平成29年3月には文部科学省の「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」の報告がまとめられ、振興の柱として「人材養成機能の向上」、「質の保証・向上」、「学びのセーフティネットの保証」が掲げられました。

もとより、生涯にわたり学習活動と職業生活を営むことで、職業に必要な能力を習得し、向上できる社会の仕組みを構築していくことが必要であり、多様な学習ニーズへの対応として「単位制・通信制学科」の活用など、現行制度の充実改善方策の推進に積極的に対応するとともに、学校の自己点検評価や第三者評価への取り組み強化や職業実践専門課程の認定など、より実践的な職業教育の質保証の確保、向上に向けた組織体制の整備が求められています。

また、一億総活躍社会・人生100年時代の働き方改革を推進するリカレント教育(生涯学習)など、多様なニーズに対応した教育プログラムを提供できる創意工夫や環境整備等への取り組みが重要になってきます。

加えて広く県民や産業界等に働きかけ、これらの制度内容等に対する理解と支持を得ることはもとより、必要な情報を的確かつ迅速に各会員校が共有し相互の参加意識を高めて強い結束を図ることが肝要であります。

専修学校・各種学校があらゆる世代のための学びの場として、多様な今後も引き続き、県内の学校・企業等との緊密な連携・協力、社会人の学びの場の構築、専修学校各種学校への財政的支援の充実・拡充への積極的な活動の展開が大切だと考えます。

上記の状況をもとに重点目標として、以下の具体的な項目の達成に努めます。

- 1 職業教育の啓発を更に進め、職業教育の中核を担う教育機関としての責任の遂行
- 2 職業実践専門課程の設置促進
- 3 家庭、学校、企業、自治体などの地域社会への広報活動の推進
- 4 各種事業に対する公的支援の創設、充実、拡充
- 5 自己点検・自己評価の情報公開
- 6 連合会組織の活性化